

別紙様式3

平成28年度 第3回 恵那南高等学校魅力化プロジェクト推進協議会 議事要旨

日 時	平成29年 2月9日(木) 10:00~12:10
場 所	恵那南高校 ガイダンスルーム
出席者 (敬称略、 委員名、オ ブザーバ ー名は50 音順)	<p>(委員)</p> <p>板谷 悦三 恵那川上屋 総務本部 本部長 伊藤 勝彦 恵那市立明智中学校校長(浪漫学園) 伊藤 博之 恵那南高校 PTA会長 伊藤 理夏 NPO法人「ミニ汽笛明知線」 大畑 雅幸 恵那市教育長 春日井尚武 恵那市立明智小学校校長(浪漫学園) 勝 正憲 明知鉄道 代表取締役運輸部長 勝川 甲子 明智振興事務所長 加藤 博史 恵南商工会理事(学校評議員) 熊田 貴雅 明智振興事務所 鈴木 隆一 NPO法人「いわむら一斎塾」理事長 服部 晃 岐阜女子大学教授(浪漫学園) 水野 正敏 岐阜県議会議員 度会 敏彦 恵那南高校 同窓会長</p> <p>(オブザーバー)</p> <p>小坂 喬峰 恵那市長 佐藤 秀樹 恵那特別支援学校校長(浪漫学園) 山口 義樹 恵那県事務所長</p> <p>(高校側)</p> <p>高谷 信吾 校長 松井 勝広 教頭 加藤 和郎 教務主任 小島 光示 総合学科部長 川阪 浩之 魅力化事務局</p>
議事概要	<p>1 学習発表会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の恵那市を自分なりに構想し、恵那市に就職したいと具体的な希望を述べる生徒の姿に感動した。教員の指導の賜であると感じた。 ・ 学校全体の取組、個々の生徒の取組がよく理解できた。一般の方にも見てもらえるように、平日の夜もしくは土曜日・日曜日の実施を検討してもらいたい。 ・ 発表方法に工夫があり、発表内容もレベルが高く、この1年間の活動の充実ぶりがうかがえた。 ・ 是非、この発表会を中学生に見せ、恵那南高校の素晴らしさを伝えたい。 <p>2 6次産業学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒たちが生き生きと取り組んでくれて大変うれしい。来年度も引き続き、全面的に協力したい。

- ・ 今年度取り組んだ栗の甘露煮の価値をどのように高めていくか検討したい。お奨めのレシピを生徒が考案し、それを使ったスイーツコンテストによる宣伝や、浪漫亭以外の販路拡大等について考えたい。

3 広報活動について

- ・ 恵那南高校の取組がテレビや新聞で頻繁に取り上げられていると感じる。おかげで地域住民は、恵那南高校の6次産業教育のことをよく分かっている。
- ・ 恵那南高校の取組を、恵那市民だけでなく、日本中に全国ネットで情報発信できるようになるとよい。
- ・ 高校の評判は在籍する生徒の口から広まるものだ。本事業の取組に係る生徒たちの満足度をより一層高めることを考えることが大切である。

4 来年度の高校活性化の取組について

- ・ 恵那南高校は地域の活力源である。イベントや街づくりは、高校生の協力なしでは成り立たない。本事業の取組を高めることを通じて、生徒の主体的な学びを推進し、小規模高校の全国のモデルになってもらいたい。
- ・ 生徒たちに英語で岩村のガイドをしてもらいたい。また、「郷土芸能」の授業では、地歌舞伎に力を入れて取り組んでもらいたい。
- ・ 地域との連携、中学校との連携をより一層深めたい。特に高校の教員は、中学校との授業見学交流会や中学校への出前授業を楽しみにしている。
- ・ 私立高校の魅力を分析することが恵那南高校活性化のヒントになるのではないか。
- ・ 今年5月27日（土）に式典を行う。恵那南高校になって10年、前身の岩村高校としては90周年、明智商業高校としては70周年の記念である。

5 その他

- ・ 高校の志願者増加にはすぐには繋がっていないが、生徒と職員が一体となって、高校の活力は確実に高まっていると感じる。大学進学についても高い志を持って頑張る生徒が増えているので、これからが楽しみである。
- ・ 地域が高校を盛り上げようと動き出している。また、恵那市の通学定期の補助は効果が出ていると感じる。
- ・ 硬式野球部は恵那市には恵那南高校にしかないもので、いつも応援している。
- ・ 恵那南高校が地域の活動に様々な形で協力・参加していることがよくわかった。地域の将来のために、地域の人が高校にもっと積極的に関わっていくべきである。地域創生は地域の学校の魅力化から始まる。